

Chapter8 フォーム処理

Lesson1 フォーム処理の概要

Web アプリケーションでフォームは必須項目のうちの1つです。注文フォームやメールフォーム、検索エンジン、ネットショッピングサイトなど様々な個所でフォームが使われています。

⇒ フォームからデータを送信する流れ

1. 入力ページを作成します。

1-1 form タグの間に input タグを挟み、テキストボックスを作成します。

1-2 データを送信するためのボタンを作成します。input タグの type を submit とします。

【index.html】

```
<html>
<head></head>
<body>
<form>
    <input type="text" name="name1" /><br />
    <input type="submit" value="送信" />
</form>
</body>
</html>
```

2. 送信ボタンをクリックした時に飛ぶページを作成します。

【check.php】

```
<html>
<head></head>
<body>
<?php
print 'こんにちは';
?>
</body>
</html>
```

3. 送信ボタンをクリックした時に飛ぶページを指定し、「送信」ボタンをクリックしたら「こんにちは」と表示されるようにします。

<form>タグに、下記の属性を記述します。

```
<form method="POST" action="check.php">
```

action=の後ろには、submit ボタンをクリックした時の飛び先を指定します。

⇒ フォームのデータを受け取る

フォームから入力されたデータを送信すると、php 側で受け取る設定が必要です。

index.html から送信されたデータを check.php が受け取る設定を行います。

フォームから値を受け取る時には、\$_POST を利用します。

POST[?]のシングルクォーテーションの間に、フォームから受け取りたいデータに指定された name 属性の値「name1」を入力します。

【check.php】

```
<html>
<head></head>
<body>
<?php
print 'こんにちは';
print $_POST['name1'];
print '様';
?>
</body>
</html>
```

index.html を開いて、テキストボックスに「isa」と入力し、check.php が下記のようにデータを受け取ることを確認しましょう。

【結果】

```
こんにちは isa 様
```